

2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
35202	中国語会話 Chinese Conversation	邱 靖媚		専門	1	選択	1.2前期
科目の概要							
発音記号（PINYIN）と声調（四声）の練習（8句の三字経節録）から中国語の授業が始まる。 ・中華圏の文化と社会に触れながら授業を進める。 ・中国及び世界の華人社会、文化、習慣などを理解しようというきっかけになる。 この授業では中国語を修得する中で自己研鑽し、国際社会の中で問題解決する力を育成する。							
学修内容				到達目標			
① 中国語発音の仕方、四声の区別と簡体字を認識する。 ② シチュエーションによつての日常会話と挨拶する。 ③ 発音記号PINYINにより朗読する。 ④ 基本文型により作文をする。 ⑤ pisa型学力を活かして、自分の作文を発表する				① PINYINの仕方と四声をマスターすることができるようになる。 ② 日常会話と簡単な挨拶ができるようにすることができるようになる。 ③ 8句の三字経節録を朗読することができるようになる。 ④ 基礎的な文法を利用し、「自己紹介」の文章を5センテンス以上作成することができるようになる。 ⑤ pisa型学力を活かして、自分の言葉で中国語の「発表」をすることができるようになる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	授業を通して、練習方法を見つけます。受け身ではなく、積極的に授業参加し、自ら通常点を獲得できる。練習の時、常に口をあけて、会話力を身につける。方法がゲットできれば、自ら練習をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	・目標を達成するために、間違いを恐れず、練習のプランを立て、行動することができる。 ・練習の方法、習慣により、言葉の新しい表現が生まれ、目標を達成することができる。					
考え抜く力	課題発見力	自らの会話力を冷静に判断し、上達する方法を仲間と一緒に練習し、改善することができる。					
	計画力						
	創造力	単語とフレーズの練習により、コミュニケーションを取る際に自分が言いたいことが伝わらない場合は言い換えをすることができる。					
チームで働く力	発信力	練習によって質問することができようになる。得意と苦手な部分を知り、自ら克服する方法を見つけることができる。					
	傾聴力	改善また上手になるため、教員の説明、また仲間のアドバイスを聞くことができる。					
	柔軟性						
	情況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト：「好朋友初めての中国語」郭明輝 朝日出版社 ・ISBN:978-4-255-45356-9(¥2420税込み) ・参考文献：キクタン（入門編）アルク出版 							
他科目との関連、資格との関連							
特にありません。							
学修上の助言				受講生とのルール			
<ul style="list-style-type: none"> ・外国語はコミュニケーションツールの一つに過ぎない、 ・ツールが多ければ多いほど競争に勝ち抜く武器にもなる。 ・友達との付き合いの楽しみが増えるし、理解も深まる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・間違いを恐れず、口を開けて、声を出す。 ・先生、クラスの仲間達と一緒に練習しながら、自分にとって最適な学習方法を見つけよう。 			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		60	①		<ul style="list-style-type: none"> ・漢字（繁体字、簡体字と日本漢字）の区別、そして発音記号、基礎文法を正確に表現できること。 ・短いフレーズの正確に応用表現できること。 ・シチュエーションによつての簡単な中国語応答できること。
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		30	①	✓	口頭発表について： <ul style="list-style-type: none"> ・授業中練習してきた中国語の単語、文法、フレーズを応用して、自ら作文。 ・声の大きさ、発音、声調（四声）と言葉の正確さによつて成績を判断する。 ・「自己紹介」を発表する。それとも ・「三字経8句」を発表する。（全て暗記の形で発表する） 		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）正しい発音を習得するために、間違いを恐れず、大きな声で練習する。 （実行力）目標のために、学修プランを立て最後までやりきることができる。 （課題発見力）口をあけて練習し、見極めることができる。 （創造力）コミュニケーションを取るために言い換えることによつて表現する。 （発信力）自己紹介の発表によつて、言いたいことを見つける。 （傾聴力）正しい発音方法をゲットするために、一人ではなく教員と共に、仲間のアドバイスを聞き取ることができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①積極的に授業に参加し、欠席、遅刻の理由報告する。 ②自己紹介の発表、三字経の朗読（声の大きさ、発音と四声正しく）する。 ③Classroomの課題に対して積極的に答え、時間内に提出する。 ④小テストと通常評価。 ①②③④到達する人が（秀）の成績を獲得できる ②③④到達する人が（優）の成績を獲得できる	①積極的に授業に参加する。 ②自己紹介の発表（声の大きさ、発音と四声）する。 ③Classroomの課題に対して積極的に答え、時間内に提出する。 ④小テストと通常評価。 ①②③④到達するの人が（良）の成績を獲得できる ①③④到達するの人が（可）の成績を獲得できる

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<中国と中国語> 発音編1 1. 中国語のピンインと四声を理解する。 2. 母音の種類を把握し、マスターする。	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないものを机の上に出さない。以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> 1. 中国語の声調 2. 母音	120	主体性 規律性
2	<中国と中国語> 発音編2 1. 中国語の子音を理解する。 2. 声調記号をマスターする。	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないものを机の上に出さない。以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> 1. 中国語の子音 2. 声調記号を付ける位置を確認すること。 (数字+よく使うフレーズ暗記 p 17)	120	主体性 規律性
3	<よく使うフレーズ> 小テスト☆1 第1課 1. 文法ポイントの説明と練習 2. 人称代名詞と指示代名詞の導入	講義と練習 ☆1 プリント対応 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	・自己紹介と友たちになりたいという意思表示ができるよう。 ①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないものを机の上に出さない。以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> ★練習問題を完成させる。	120	主体性 課題発見力 規律性
4	1. L1本文のペアワーク 2. 練習問題	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないものを机の上に出さない。以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> 1. 練習問題のチェック 2. チャレンジ	120	主体性 発信力 傾聴力 規律性
5	第2課 1. 文法ポイントの説明と練習 2. 形容詞の述語文	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	・趣味について話すことができるよう。 ①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないものを机の上に出さない。以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> ★練習問題を完成させる。 (趣味の関連語句暗記 p 25)	120	主体性 傾聴力 規律性
6	<趣味の関連語句>小テスト☆2 1. L2本文のペアワーク 2. 練習問題 3. 小テストをしてフィードバックする	趣味の関連語句小テスト☆2 プリント対応	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないものを机の上に出さない。以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> 1. 練習問題のチェック 2. チャレンジ	120	主体性 課題発見力 規律性
7	第3課 1. 文法ポイントの説明と練習 2. 所有を表す「有」	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	・家族構成について話すことができるよう。 ①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないものを机の上に出さない。以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> 「何人家族ですか」？ / 「何人兄弟ですか」？ ★練習問題を完成させる。 (親族の名称暗記 p 31)	120	主体性 傾聴力 規律性
8	<親族の名称>小テスト☆3 1. L3本文のペアワーク 2. 練習問題 3. 小テストをしてフィードバックする	親族の名称小テスト☆3 プリント対応	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないものを机の上に出さない。以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> 1. 練習問題のチェック 2. チャレンジ	120	主体性 課題発見力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	第5課 1. 文法ポイントの説明と練習 2. 選択疑問文/反復疑問文	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	・できること、できないことについて表現することができるよう。 ①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> ★練習問題を完成させる。	120	主体性 傾聴力 規律性
10	1. L5本文のペアワーク 2. 練習問題	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> 1. 練習問題のチェック 2. チャレンジ	120	主体性 傾聴力 規律性
11	第7課 1. 文法ポイントの説明と練習 2. 場所の確定表現	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	・場所を尋ねることが出来るよう。 ①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> ・一日/一週間の区分 ★練習問題を完成させる (p 48, 49練習問題5の復習)。	120	主体性 課題発見力 規律性
12	<練習問題5>小テスト☆4 1. L7本文のペアワーク 2. 練習問題 3. 小テストをしてフィードバックする	・練習問題5小テスト☆4 プリント対応	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> 1. 練習問題のチェック 2. チャレンジ	120	主体性 創造力 発信力 規律性
13	・「自己紹介」7個の文を仕上げする。	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	・7句の作文を完成するよう。 ①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> 自己紹介の文を完成すること。	120	主体性 実行力 創造力 規律性
14	<自己紹介>7個の文を発表する準備。☆5	講義と練習 授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	・自己紹介の発表。 ①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<予習60分・復習60分> 1. 練習問題のチェック 2. チャレンジ	120	主体性 実行力 規律性
15	<自己紹介>7個の文を発表する。☆5 自己紹介の文について、一つ一つの発音のフレーズを確認し、質問に答える。 自己紹介の発表をしてフィードバックする	授業中挨拶の言葉、ピンインを使って、自分の名前の中国語を覚える。毎回クラスルームでポイントの復習と作文の練習、訂正を再確認し、フィードバックの方法として実行する。	①練習の時に声を出す、 ②ノートする、 ③課題を提出する。 ④授業と関係ないもの机の上に出さない。 以上の授業ルールを守って、大学生らしく授業に参加する。	<復習120分> 自己紹介の文について、一つ一つの発音のフレーズを確認しながら、自分の言葉になる。そして質問に答える。	120	主体性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力